

## 試される障害者雇用

浅野史郎の

(19)

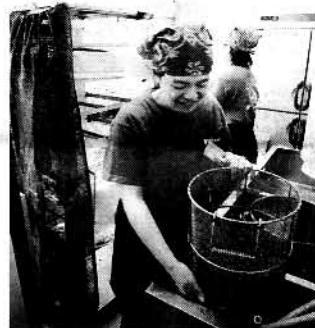
夢  
あれ

いう図式があ  
たりまえと見  
られていない  
か。

障害者自立  
支援法は、使  
い勝手が悪  
い、単価が安  
い、原則1割の応益負担

年の初めである。昨年  
末から続く経済危機、景  
気の後退、それらを反映  
した雇用状況は、ますま  
す厳しさを増していくだ  
ろう。

そんな中で、障害者の  
就労が気がかりである。  
「一般の労働者の雇用す  
らままならない中で、障  
害者の雇用など構ってい  
られない」という企業が  
現れはしないか。「最後  
に雇われ、最初に首にな  
る」弱い立場の障害者と



たいやき店で働く障害者。  
ATARIMAEプロジェクトで紹介されている

ド就労支援ICTセミナー」の東京での展開を昨  
年10月に始めたし、「障  
害者があたりまえに働くニッポンへ」を掲げて  
厚生労働省が支援する  
「ATARIMAEプロジェクト」も昨年始動し  
た。

福祉企業家が新しく事

業を立ち上げて、自前で  
障害者を雇うという例  
も、増えつつある。そ  
う

いた動きがある中で、  
不況によって障害者が職  
場から追われる」ことがあ  
つてはならない。

懸命に働く障害者の姿  
は、不況であえぐ企業や、  
一緒に働く社員に勇気を  
与えてくれるはずであ  
る。雇用にとっての冬の  
時期にこそ試される障害

者雇用、まずは新しい年  
の課題である。

（慶應大学教授）

もの高い障害者雇用率を  
達成している。ヤマト福  
祉財団が直営3店、チェ  
ーン店23店で運営してい  
は、300人近くの障害  
者が仕事をしている。こ  
の法律の重要な目的に  
なっていることを忘れて  
はならない。ゆっくりで  
はあるが、着実に障害者  
の就労が進んできている  
ことも事実である。その  
精神を大切にしたい。

ユニクロは、8・06%  
「プロップ・ステーション」では、「チャレンジ